

# ICANN

(Internet Corporation for Assigned Names and Numbers)

- 資源管理ポリシーを調整する新しい仕組み作り -

2000年2月14日

第1回

インターネット・ガバナンスに関する研究会

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター

(Japan Network Information Center)

大橋 由美 (Ohashi, Yumi) [yumi@nic.ad.jp](mailto:yumi@nic.ad.jp)

## 本日のお話

- ◆ ICANNの試み
- ◆ ICANNの設立まで
- ◆ ICANNの構造
  - ◆ DNSO、ASO、PSO、RSSAC、GAC
- ◆ 最近の議論と最新情報
- ◆ 今後の動向

# ICANNの試み

-世界レベルでのインターネット資源ポリシー調整-

## ◆ グローバル・ガバナンスのレッスン

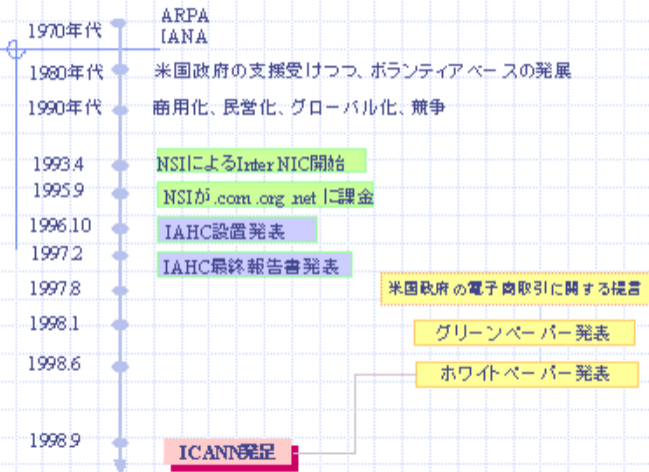
- 技術・経済・法務・安全・政策を統合した世界調整
- 民間主導

## ◆ グローバル資源としてのインターネット

- 実験としてのインターネットから、社会基盤としてのインターネットへ
- インターネットの管理・運用・調整をどうバランスよく行うか

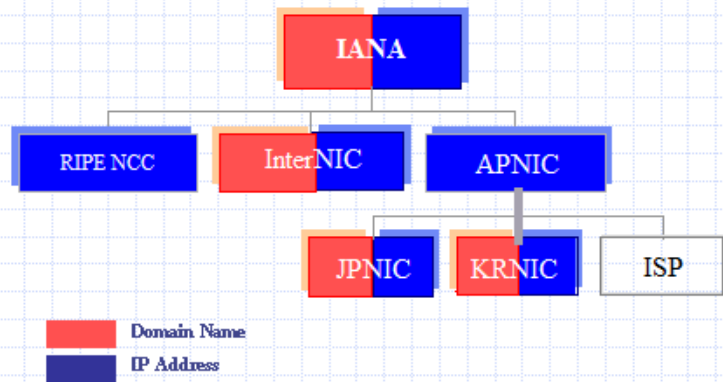
ICANNの設立まで

# ICANN発足以前の資源調整



# IANA (Internet Assigned Numbers Authority)

(1990年代中期)



## ICANN設立以前の環境

- ◆ 研究者、技術者の努力による発展
  - ボランティア
- ◆ 米国政府予算の援助も
- ◆ Bottom-up, Rough consensus, Running-code
  - デファクトスタンダードによる規格確立

# ICANN発足以前の環境

## -問題とされた点-

- ◆ IANA(Internet Assigned Numbers Authority)の法的権限、インターネットの資源をグローバルに調整する主体が不明確
  - ビジネス利用の健全な発展には責任を明確にした体制が必要
- ◆ NS独占への批判
  - 競争原理を働かせるべき
- ◆ 利用者範囲の広がりにふさわしくない
  - 管理体制に対する米国以外からの意見が反映されない
  - 米国のみがコスト負担するのはおかしい
- ◆ .com登録に対し商標権の立場から異議・訴訟出始める
  - 商標権者がドメイン名を「商標権侵害」と訴え、など
  - ドメイン名申請受付・登録・管理機関が巻き込まれる
  - 全世界にわたる責任ある管理が必要



# IAHC

## (International Ad Hoc Committee)

◆ 1996.10.22 設置

◆ 目的

- ドメイン名登録に競争導入、ドメイン名と商標権の関  
係にかかわる問題を審議

◆ 結果

- 1997.2.4 IAHC最終報告書(勧告)発表
  - ◆ 7つのgTLD追加、登録事業に複数企業を参入可  
能とする

## 米国政府の提案(1)

- ◆ 1997.7.1 “The Framework for Global Electronic Commerce”発表
  - インターネットが決済手段等のビジネスのベースとして堅固であるべき
  - ドメイン名システムの競争、国際的参加のため管理体制を民営化すべき
  
- ◆ 1998.1.30 “Green Paper”発表
  - 米国政府のこれまでの投資、努力、権利を強調
  - 当初米国政府の主導でインターネット管理し、後に民間主導にする
  - インターネット資源管理に米国政府が介入しようとしているように見えることへの批判など、様々な議論

## 米国政府の提案(2)

### ◆ 1998.6.5 “White Paper”発表

- IANAに代わる新しい国際的非営利法人設置
- これまでの民間主導・ボランティア的發展を尊重、  
米国政府は不介入を明言
- 民間主導での議論が広まる

→ 1998.9.30 ICANN(Internet Corporation for  
Assigned Names and Numbers)発足へ

# ICANN設立の目的

## ◆ グローバルな合意に基づく一元的管理

- “We are ICANN”
- 非営利、民間の国際組織(法人)
  - ◆ 権利・責任の明確化

## ◆ インターネット資源に関する問題を世界的に公平・効率的に解決する

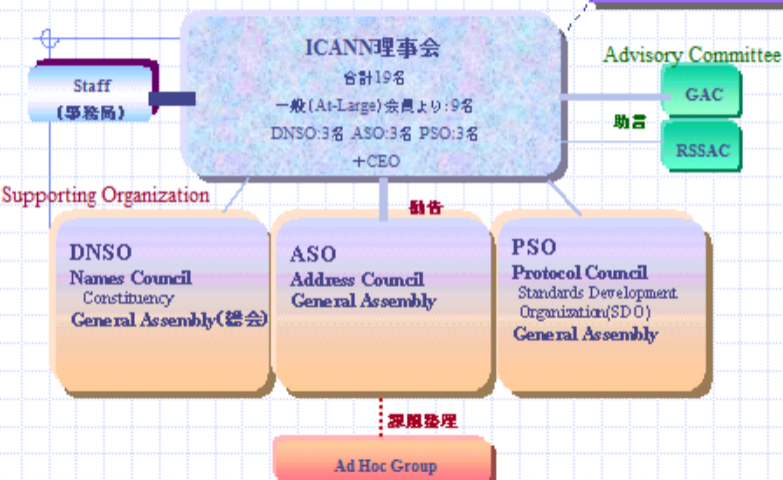
- ◆ ドメイン名 → DNSO
- ◆ IPアドレス → ASO
- ◆ プロトコル → PSO
- ◆ ルートサーバ → RSSAC

## ◆ バランス

- ◆ 地域、業界

## ICANNの構造

# ICANNの構成



## 理事会

### ◆ ICANNの最終決定機関

### ◆ 19名

- ◆ 各Supporting Organization から3名ずつ計9名
- ◆ 一般(At-Large)会員から9名
- ◆ 事務総長/CEO

### ◆ 暫定理事会から正式理事会へ移行中

## Supporting Organizations

### ◆ ICANN理事会に勧告

DNSO(Domain Name Supporting Organization)

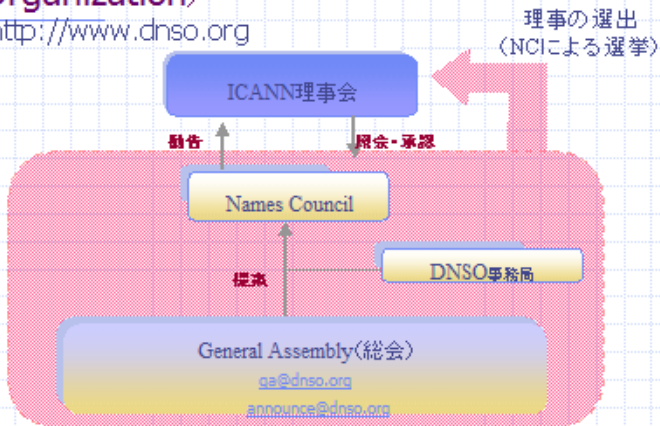
ASO(Address Supporting Organization)

PSO(Protocol Supporting Organization)



# DNSO (Domain Name Supporting Organization)

http://www.dnso.org



## DNSO Names Council

### ◆役割

DNSOのコンセンサス形成

### ◆構成

7Constituencyから3名 (gTLDレジストリからは1名のみ)

- ccTLD(各国コードトップレベルドメイン)レジストリ
- 営利企業組織
- gTLD(.com, .net, .orgなどのトップレベルドメイン)レジストリ
- インターネット サービスプロバイダ(ISP)等
- レジストラ
- 商標、知的所有権関係者
- 非商業ドメイン名保有者

# DNSO Names Councilの構成

19名

※各Constituencyの  
代表者で構成

DNSO Names Council

Constituencies

ccTLD  
(3)

Commercial  
& business  
(3)

gTLD  
(1)\*

ISP  
(3)

Registrars  
(3)

Intellectual  
property  
(3)

Non-  
commercial  
(3)

# DNSO General Assembly(総会)

## ◆ 役割

作業項目の提案・作成・議論及び、ドキュメント作成・  
調査委員会・Drafting Committee・Working Group  
への参加

## ◆ 構成

DNSOの扱う分野に知識と関心を持ち、DNSOIに時間  
と労力と専門知識を出すことのできる個人

[ga@dnso.org](mailto:ga@dnso.org)

[announce@dnso.org](mailto:announce@dnso.org)

# DNSO Working Group

## ◆ WG-A

- gTLDレジストラの統一紛争解決ポリシー

## ◆ WG-B

- 著名商標の扱い
- 2000年2月に暫定報告？

## ◆ WG-C

- 新gTLD
- 1999年10月23日に暫定報告  
→2000年1月10日、JPNICからコメント送付

## ◆ WG-D

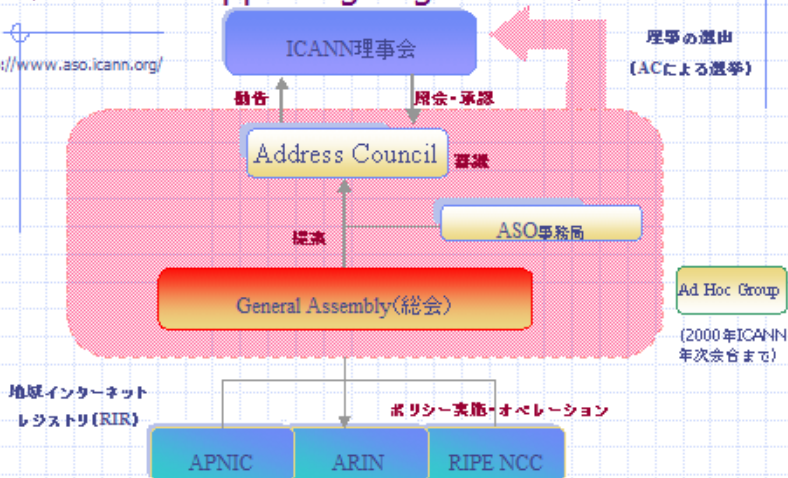
- DNSOビジネスプラン

## ◆ WG-E

# ASO

## (Address Supporting Organization)

<http://www.aso.icann.org/>



地域インターネット  
レジストリ(RIR)

## ASOの形成

- ◆ 以前は地域レベルで割り振り/割り当てポリシー策定  
→グローバルなポリシー作りへ
- ◆ レジストリ中心のポリシー策定から、よりビジネス側の利益を反映したポリシー策定へ
- ◆ IANAの機能強化
  - インターネットの資源マネジメントをグローバルに調整する主体として
  - ICANN

## ASOの役割

- ◆ IPアドレスに関するポリシーを審議、理事会に勧告



# ASO Address Council

## ◆ 役割

- ICANN理事を選出
- 理事会に照会された事項について、理事会に助言

## ◆ 構成

- 現在、世界3地域から3名ずつ、計9名
  - ◆ アジア太平洋-APNIC (Asia Pacific Network Information Centre)
    - 日本からも
  - ◆ アメリカ-ARIN (American Registry for Internet Numbers)
  - ◆ ヨーロッパ-RIPE NCC (Reseaux IP Europeens Coordination Centre)

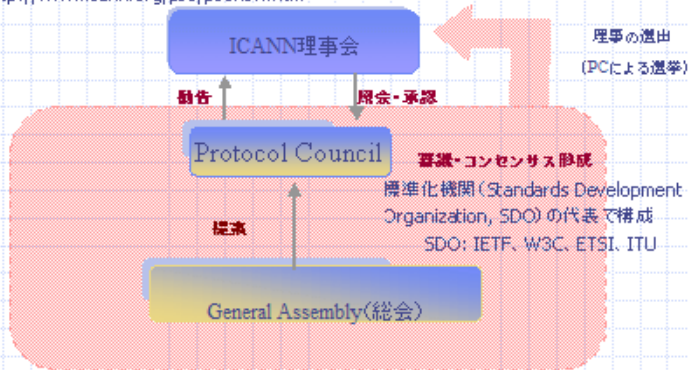
# 新しい地域インターネットレジストリ (RIR)

- ◆ 現存するRIR
  - APNIC、ARIN、RIPE NCC
- ◆ AfriNIC
  - アフリカ地域
- ◆ LACNIC
  - ラテンアメリカ、カリブ地域
- ◆ 今後の地域バランス？

# PSO

## (Protocol Supporting Organization)

<http://www.icann.org/psd/psdnew.htm>



## PSO形成

- ◆ 通信の混乱、衝突を避けるため  
管理は必要

## PSOの役割

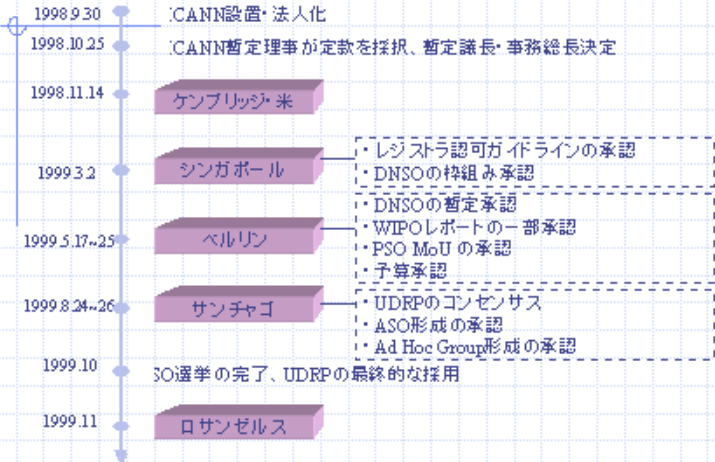
- ◆ インターネットプロトコルのパラメータ割り当てに関するポリシーを、理事会に勧告

# Advisory Committee

- ◆ ICANN理事会に助言
- ◆ RSSAC(ICANN Root Server System Advisory Committee)
  - ルートサーバ管理者の立場から
  - 世界に分散したルートサーバ管理を調整、安定運用を目指す
- ◆ GAC(Governmental Advisory Committee)
  - 政府の立場から
  - 各国・地域等政府代表で構成

## 最近の議論と最新情報

# これまでのICANN会議





## ロサンゼルス決議(1999.11) (1)

- ◆ ICANNと米国商務省(DoC)、Network Solutions, Inc.(NSI)間の合意書案承認
- ◆ gTLD登録と共有レジストリシステム(SRS)に関する事項の明確化
  - NSIは最低4年間、レジストリデータベースの監督権を保持、18ヶ月以内にレジストリ・レジストラ業務を完全分離すれば更に4年間延長
  - NSIはICANNに料金125万ドルを前払いで支払う
  - レジストリの監督権を得たNSIは、レジストラ(競合会社)がドメイン名を登録するごとに6ドルの料金を徴収する

## ロサンゼルス決議(1999.11)(2)

- ◆ 設立以来、基本的に民間有志の寄付に依存
- ◆ 1999年8月、ICANN財政に関するタスクフォース設置
- ◆ ロサンゼルス会議で最終報告を承認
  - ◆ 過度期予算
  - ◆ 予算手続き
  - ◆ 予算拠出金の全世界割当
  - ◆ gTLDレジストラの資金調達方法
  - 原則: 資金調達はIPアドレスレジストリ、ドメイン名レジストリ・レジストラにより賄うべき
- ◆ 1999~2000年度支出カバーの分担案
  - ◆ gTLDレジストリとレジストラ・・・55%
  - ◆ ccTLDレジストリ・・・35%
  - ◆ IPアドレスレジストリ・・・10%

## ロサンゼルス決議(1999.11) (3)

- ◆ 一般(At-Large)会員
- ◆ インターネットユーザの声を直接ICANNに反映する
- ◆ At-Large CouncilがICANN理事中9名選出
- ◆ 会員制度実施タスクフォースの召集
- ◆ 一般(At-Large)会員制度を実施するリソースは？
- ◆ 公平・透明なICANN理事選挙はどうやって行う？

## gTLDレジストラ認可と競争導入

- ◆ NSIによってこれまで運営されてきたgTLDのレジストリを共有する(SRS: Shared Registry System)
- ◆ SRSを使ってドメイン登録を行う業者数に制限なし
- ◆ インターネットの安定や消費者へのサービスの一貫性は、各登録業者が必ずICANNに認定されなければならないという条件によって保護される
- ◆ 1999年4月からテストベッド
- ◆ ICANNが認可したレジストラ110社  
(2000年1月現在)

# gTLDレジストラの紛争解決ポリシー (DNSO WG-A)

- ◆ 1999年4月30日、World Intellectual Property Organization(WIPO)の報告
  - .com、.org、.netのトップレベルドメインに関する紛争解決ポリシー勧告
- ◆ 1999年8月3日、WG-Aの報告をもとにDNSO Names Councilが統一紛争解決ポリシーを理事会に提出
- ◆ 1999年10月25日、統一紛争解決ポリシーおよび手続規則承認

## 著名商標とドメイン名の関係 (DNSO WG-B)

- ◆ 議論参加者は知的財産権関係者
- ◆ DNS の運用において著名商標保護のため、なんらかのメカニズムが必要
- ◆ 著名商標の定義？
- ◆ 2000年2月、中間報告をNames Councilに提出予定??

# 新しいgTLDの創設 (DNSO WG-C)

## ◆ 新しいgTLDの必要性、またその新設方法

### ◆ 1999年10月23日、暫定報告

- <http://www.dnso.org/dns/notes/19991023.NCwg-c-report.html>
- JPNICによる日本語訳  
<http://www.nic.ad.jp/jp/internet/doc-j/icann/dnso-wg-c-proved-j.html>

### ◆ ラフコンセンサス

- 新gTLDは追加すべき
- 最初はスモールスタートで、評価・フィードバック

### ◆ 報告書へのコメント

- ◆ JPNICから1月10日に提出  
(近日<http://www.nic.ad.jp/>にてWEB公開)
- ◆ DNSOのアーカイブ  
<http://www.dnso.org/dns/dnsocomments/comments-gtlds/Archives/maillist.html>

## アナウンスから: 超最新情報

### ◆ IANAによる、.PNの再委任に関する報告 (2000年2月11日付)

- Pitcairn Island(英国領)
- .PNは1997.7~
- Pitcairn Island Councilおよび住民の請願

→ Pitcairn Names(Orichalk Ltd.)から

Pitcairn Island Administrationへ委任先を変

えるべき



## これまでのICANN活動の特徴 (特にDNSO)

### ◆ 欧米中心

### ◆ ビジネス中心

- 欧米: 技術者以外が中核
  - ◆ 法律家、ベンチャー企業の社長、、、
- 他: 国のインターネット管理組織、大学教授等  
技術者中心

## 今後の動向

# ICANNエジプト会議

◆ 2000年3月7日～3月10日 カイロ(エジプト)

◆ <http://www.icann.org/cairo2000/cairo-details.htm>

◆ アジェンダ

- At Large Membership と At Large Member からの理事選挙
- 新しいトップレベルドメインのレジストリ創設に関するポリシーの検討
- ccTLD の委任と運用のポリシー
- ICANN 2000-2001年度ICANN予算

# JPNICの貢献

## ◆ JPNICからのICANN参加

- At Large membershipの日本での拡大
- ICANNとの契約
- アジア太平洋地域との協力
  - APIA (Asia & Pacific Internet Association)
  - APTLD (Asia Pacific Top Level Domain Forum)
  - APNIC (Asia Pacific Network Information Center)
- 世界の動向に関する情報収集、提供
  - JPNIC WEB国際運機ページ  
<http://www.nic.ad.jp/jp/intl/index.html>
  - オープンなメーリングリスト [icann-d@nic.ad.jp](mailto:icann-d@nic.ad.jp)
    - [majordomo@nic.ad.jp](mailto:majordomo@nic.ad.jp)に "subscribe icann-d"
  - インターネット・ガバナンスに関する研究会